

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 7月25日（水）

2 確認箇所

- ・淡水化装置（RO-3）建屋
- ・雑固体廃棄物減容処理建屋周辺サブドレンピット

3 確認項目

- （1）淡水化装置（RO-3）で発生した漏えい事案の対応状況
- （2）雑固体廃棄物減容処理建屋周辺サブドレンピットの状況

4 確認結果の概要

- （1）淡水化装置（RO-3）で発生した漏えい事象の対応状況について
淡水化装置（RO-3）（以下「RO-3」という。）で発生した漏えい事象に対するこれまでの対応状況を確認した。
 - ・平成30年7月19日に発生したRO-3のROスキッド2（逆浸透膜処理ユニット2）における配管ジョイント部からの処理水漏えい事象については、現在、原因調査中であり、漏えい箇所及び周辺配管はビニールで養生されていた。（写真1、2）
なお、ROスキッド2の配管溶接部は、平成27年8月12日に発生したROスキッド3の配管溶接部からの漏えい事象を踏まえた水平展開として、自己融着性のある補修テープによる漏えい防止措置がとられていた。（写真1）
 - ・平成30年7月18日に発生したRO-3のウルトラフィルター空洗用エアホースからの系統水（RO装置処理前の水）漏えい事案については、漏えい水は回収されていたが、漏えい箇所のエアホースは外されており交換はまだ実施されていなかった。（写真3）
 - ・平成29年4月27日に発生したRO-3のマルチメディアフィルタ廻りの配管ベント弁付近からの系統水漏えい事象については、原因となった弁接続部の緩みが発生しないように当該箇所を閉め付け金具等で固定するとともに自己融着性のある補修テープによる漏えい防止措置がとられていた。（写真4）



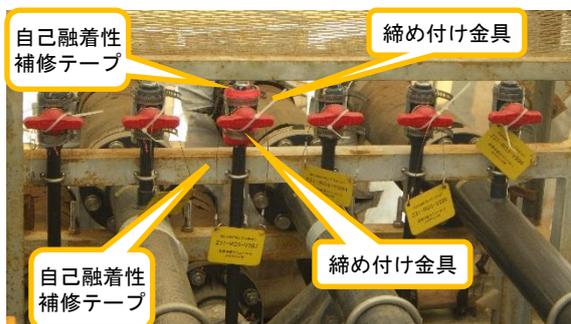
(写真1)
ROスキッド2の状況①



(写真2)
ROスキッド2の状況②



(写真3)
ウルトラフィルターの漏えい箇所の状況



(写真4) マルチメディアフィルタ廻りの配管ベント弁付近の状況



(参考) 平成29年4月27日の状況

(2) 雑固体廃棄物減容処理建屋周辺サブドレンピットの状況について

平成30年7月25日11時08分頃、免震重要棟において雑固体廃棄物減容処理建屋（以下「高温焼却炉建屋」という。）及びプロセス主建屋近傍のサブドレン水位の監視ができなくなる事象が発生したことから、高温焼却炉建屋周囲のサブドレンピットの状況を確認した。

なお、それぞれの建屋にある現場記録計での水位確認は可能な状態であり、14時23分には免震重要棟において、水位の連続監視が可能な状態に復帰した。

- ・高温焼却炉建屋の四隅付近にある4つのサブドレンピット（No.150～153）は、いずれも汲み上げ用ポンプは運転されておらず、ピットの上部まで溜まり水があった。（写真5）



(写真5) サブドレンピットNo.150の状況

5 プラント関連パラメータ等の確認

前日に比べてパラメータに有意な変動は確認されなかった。